

「英語って苦手だな…」と感じている人がすべき勉強は、単語の暗記です。単語練習じゃないですよ。単語の暗記です。

例1. Taro is eating dinner.を見て、「あっ現在進行形だ。」と気づけても、eatの意味が分からず訳せない。

例2. 「現在進行形は、be動詞+ing…で表すのか。なるほどね」と学んでも、単語が書けず穴埋めできない。

あなたも、このような経験があり、「やっぱり英語、難しいな…」と悩み、諦めかけているのであれば、言いたいです。それ…単語を覚えれば解決できるよと。私の経験ですが、中学生が悩む英語学習のほとんどは、単語力をつけることで解決できます。これから、その方法をご紹介しますので、ぜひ最後まで、このプリントをお読みください。決して損はさせません。

まず初めに、単語力には3種類ある、というお話をします。libraryは書ける必要があるが、Pochiは訳せればよい。という具合です。ア：「発音できる(必修)」、イ：「訳せる」、ウ：「つづりを書ける」、こう分類されます。たとえば中学1年生にとっての「ウ」は、685単語です(うち185単語は、小学校で既習)、その他はすべて「イ」です。一応確認ですが、書ける=訳せることも、兼ねています。「685単語も?」と思われるかもしれませんが、この685単語には、「a,the」なども含まれていますので、全部が難しい単語ではありません。さらに、長文が苦手な人にとって、朗報があります。

長文理解は、「イ」の力で十分です。意外に思われるかもしれませんが、長文を読むのに必要な力は、「イ」だけです。長文を「読む」というぐらいですから、書ける必要は無しです。もちろん、英問英答という設問があるため、あくまで本文内容を理解するという点においてですが、入試の長文を考えた場合、なんでもかんでも書けるようになる必要はない!ということです。

よって、「長文を、速く読めるようになりたい。」「英語力を上げたい。」こう思っている人は、英和辞書を片手に、たくさん長文を読むようにしてみてください。全国公立高校入試問題集(国数英合本)がお勧めです。

### 一方、定期テスト対策は、原則すべて、つづりを書ける必要があります。

Kenta : Look !

That gate is really colorful !

Bob : What does that sign say ?

Kenta : It says "Chinatown. " I'm very hungry !

Which restaurant do you recommend, Mei ?

Mei : Let's eat at this restaurant.

Bob : Why do you recommend that restaurant ?

Mei : Because its spring rolls are delicious.

Kenta : What are spring rolls ?

Mei : Harumaki in Japanese.

Kenta : Oh, I love them ! Let's go there !

左は、中学1年生用の、学校の教科書です。

recommend (お勧めする)、restaurant (レストラン)、because (なぜなら)、delicious (美味しい) …

この4つこそ、中ボスクラスですが、他は、何とかかなりそうだと思いますか? (赤丸は固有名詞。書ける必要無しです。) 中ボス以外の一つひとつは手強くないため、ためずに覚えていくことで、何とかあります。単語を覚える方法は…

〈単語を覚える方法〉 別紙でテスト  
book 本 : book,book,book 本 ( )  
desk 机 : desk,desk,desk 机 ( )

このように、英語だけを3回書きます。その後、書けるか別紙で自分テストをする。という流れがお勧めです。

3回英語だけを書いて、その後テストをする。「簡単じゃん!」「楽勝!」と思ったかもしれませんが、楽勝じゃないかもしれません。以下で、その理由をお話しますので、「確かにそうだな。気を引き締めるぞ。」と思ってくれたら嬉しいです。

### 私の塾では授業中に、英単語学習をします。「塾で単語?(笑)」と思いませんか?

「英語の成績は60点くらいです。英単語の練習は自宅でもできます。長文の読み方など、一人ではできない事を指導してほしいのですが…」こう、入塾面談で言われることがあります。私は答えます。「お気持ちは分かりますが、私の目の前で、英単語練習をさせてあげたいです。」と。

これは私の体感ですが、英語の成績と単語力は比例します。先ほどもお話ししましたが、英単語を知らないと文法問題が解けません。英単語を知らないと、長文が読めず、内容をつかめません。

逆に、語句の意味が分かれば、長文の内容が分かります。よく、「分からない単語は、前後から推測して読めばよい」と言われますが、これは、基本単語を分かったうえでのお話です。何も、単語のすべてを分かればよい!とは言いません。学校の教科書に出てくる単語だけでいいのです。

TOEICのように、政治経済の単語を覚える必要はありません。為替がどうの、B to Cがどうのは必要ありません。「食べる」「レストラン」「忙しい」など、身近な表現をまず覚えるのが、中学生と高校生の英語です。つまり、日常の語句だからこそ、頑張れば、必ず物にできるのです。write が書けない中3生、過去形をwrited と書く高校生を、何とかしてあげたいのです。

英単語学習には、数学の文章題のような「やったぜ、解けた!」という達成感も、「そういうことか!」と、好奇心を満たす要素もありません。だから続けづらいのです。だから英単語学習とは、「誰でもできる事。だけど、誰もが簡単には継続できない事」なんだと思います。単語の暗記は一人でできると、お子さん本人も言っているのでしょうか。そして学校の教科書の単語は、実際に大丈夫なんでしょうか?断言します。教科書の単語をすべて覚えれば、それだけで80点取れます。

余白に英語だけ3回練習して、別紙でテスト。

## 練習&答え

サイン  
that sign :  
あの標識

セツズ  
It says :  
標識には書いてある

ハングリー  
hungry :  
空腹な

フィッチレストラン  
Which restaurant :  
どのレストラン

レコメンド  
recommend :  
お勧めする

上は、私の塾で行う単語練習プリントです。(ONE WORLD 中学1年生 76ページ)

授業の最初5分間、教科書の単語を学びます。英単語学習は重労働。簡単な事だけど、誰もができない事だからこそ、大切にしたいです。